

## 2 メンター方式の考え方を取り入れた実践期養護教諭育成研修の実際

### (1) メンター方式の考え方を取り入れた中学校区小・中学校養護教諭連携研修の実際

#### ア 鳥栖西中学校区小・中学校養護教諭連携研修の概要

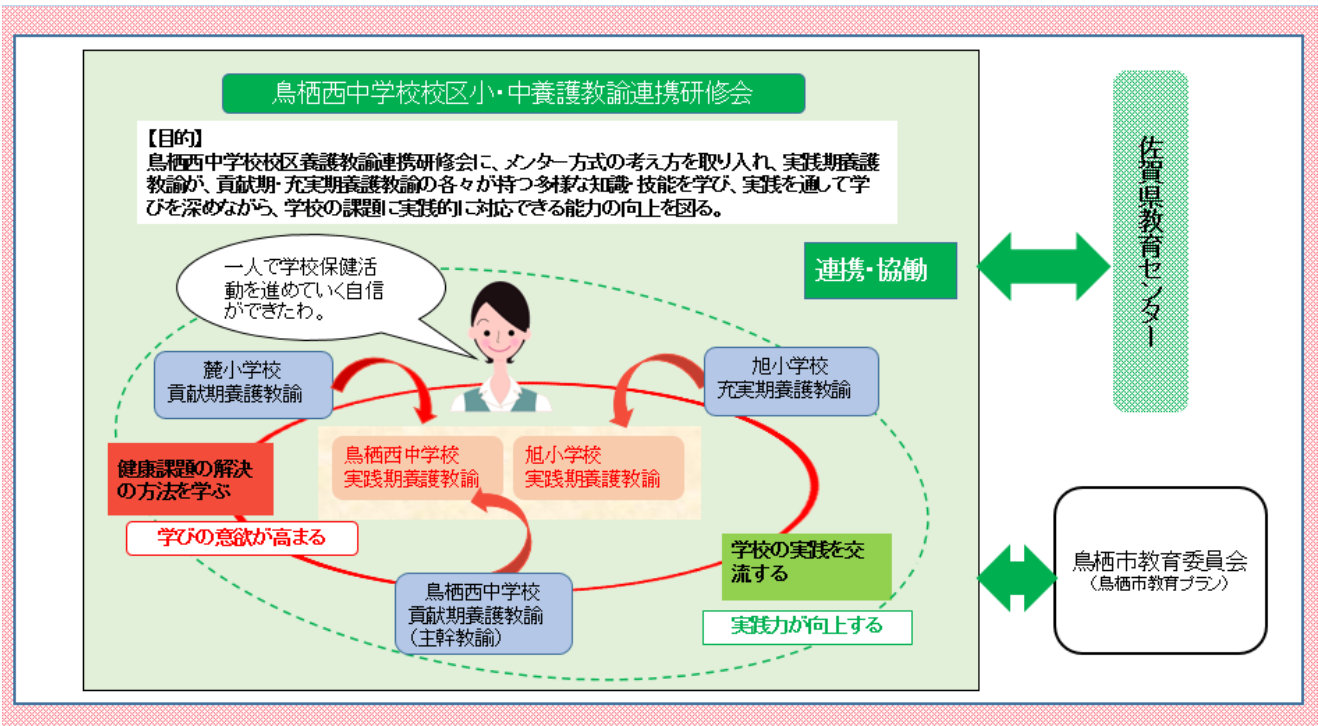


図 1 鳥栖西中学校区小・中学校養護教諭連携研修

鳥栖西中学校区小・中学校養護教諭連携研修は、鳥栖西中学校（貢献期養護教諭 1 名・実践期養護教諭 1 名）、旭小学校（充実期養護教諭 1 名・実践期養護教諭 1 名）、麓小学校（貢献期養護教諭 1 名）で構成されています。平成28年度は、校区の健康課題解決を図るために、計画的・継続的に研修を行ってきました。平成29年度は、チームとして実践期養護教諭を育成するために、図 1 のように、これまでの中学校区小・中学校養護教諭連携研修にメンター方式の考え方を取り入れることとしました。

表 1 は、平成29年度鳥栖西中学校区小・中学校養護教諭連携研修の年間計画です。このような計画で、実践期養護教諭が貢献期・充実期養護教諭から多様な知識・技能を習得し、学校の課題に実践的に対応できる能力の向上を図ることを目的とした研修に取り組むことにしました。

表 1 平成29年度 鳥栖西中学校区小・中学校養護教諭連携研修年間計画

	月	内 容	回	月	内 容
1	7 月	「子供理解を深める」 「見える化」・「習慣化」のための交流会 ・健康診断結果について ・合理的配慮を要する児童生徒について ・小・中学校における自己肯定感を高める取組	4	11 月	「子供理解を深める」 ・鳥栖西中学校養護教諭（実践期）による旭小学校一日体験勤務
			5	12 月	「子供理解を深める」 ・鳥栖西中学校養護教諭（実践期）による麓小学校一日体験勤務 ・旭小学校養護教諭（実践期）による鳥栖西中学校一日体験勤務
2	8 月	「保健教育を考える」 ・指導案検討会 ・授業参観	6	1 月	「保健教育を考える」
			7	2 月	「保健教育を考える」
3	11 月	「養護教諭情報交換会」			

## イ 鳥栖西中学校区小・中学校養護教諭連携研修の内容

本研究では、まず、前頁表 1 の年間計画に沿って、実践期養護教諭が捉えている自己課題を取り上げ、それらを基に貢献期養護教諭が研修を企画し、実践期養護教諭の課題解決を図ることができるようにしました。

自己課題についてアンケートを実施したところ、実践期養護教諭（新規採用養護教諭）は、的確な応急処置や健康診断を生かした健康管理の不十分さを課題として挙げました。また、健康相談に係る適切な生徒対応や生徒が健康な生活をしようとするための保健教育ができないことを課題としており、それらに自信を持つことができないようでした。実践期養護教諭（2年経験）は、「児童の体調に対応する健康相談の力量を高めたい。現在の保健教育を充実させたい」など、健康相談や保健教育をよりよいものとしていくために、自分の知識・技能を高める必要があることを課題としていました。

そこで、平成29年度鳥栖西中学校区小・中学校養護教諭連携研修は、保健教育と健康相談の内容を設定し、研修を進めていくこととしました。図 2 は、メンター方式の考え方を取り入れて計画した鳥栖西中学校区小・中学校養護教諭連携研修の具体的な内容です。

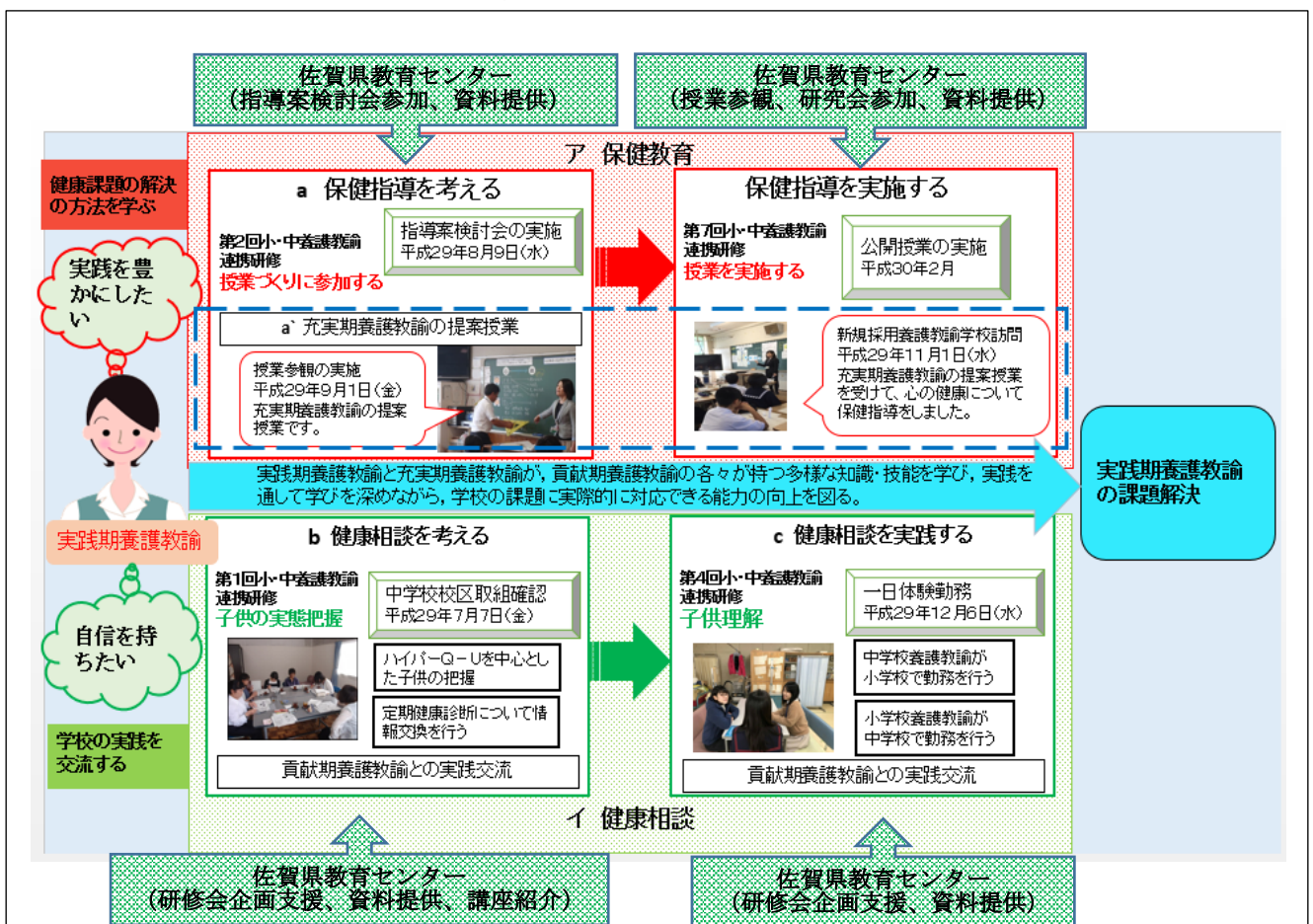


図 2 鳥栖西中学校区小・中学校養護教諭連携研修の内容

実践期養護教諭は、この計画の中で、保健教育の課題解決に向けて充実期養護教諭が行う保健指導の授業づくりに参加します。そして、保健教育の在り方や指導方法の工夫を学び、自校での保健教育の実施につなげることができるようにします。また、佐賀県教育センター専門講座等に参加して知識・技能を学び、それらを中学校区小・中学校養護教諭連携研修で貢献期・充実期養護教諭と交流することによって確かな実践力になるよう高めていきます。さらに、実践期養護教諭が校区内の小・中学校で一日体験勤務を行い、子供たちの実態を把握しながら、貢献期・充実期養護教諭から知識・技能を習得し、子供理解を深めることができるようになります。